

研究の楽しみ方



所属研究科や専門分野を問わず、全ての大学院生の本分である「研究活動」。やるからには、前向きに楽しみながら納得のいく成果をあげたいものです。

本セミナーでは、「研究とはなにか」「研究する上で大切なこと」「研究の醍醐味」など、研究の本質に関わるお話を聞き、考えます。新年度が始まって間もないこの時期にピッタリの、研究意欲がさらに高まるセミナーです。入学直後の新入生の皆さんはもちろん、研究に取り組む全大学院生におすすめします！

受講者の声

- ・研究をすすめていくだけでなく、人生のキャリアを肯定的にとらえられるようになった。
- ・二年間しかない研究生活を楽しまなければならないと感じ、研究に対する意識が高まった。
- ・研究を楽しむとは、研究において大切なのは何か、というのが分かったので、精神的に身軽になれた。

日時	2018年5月29日(火) 14:40～16:10
会場	衣笠キャンパス 究論館 1階 リサーチコモンズ
対象	本学大学院生、専門研究員、本学大学院への進学を希望する学部生
定員	30名(先着順)
講師	<p>小池みき(ライター・漫画家)</p> <p>2011年愛知淑徳大学文化創造学部表現文化学科卒業。卒業後、郷土史本編集、テレビ番組制作、金融会社勤務など多数の仕事を経験。2013年、企画からてがけた『百合のリアル』(牧村朝子著)の刊行をきっかけに、書籍ライター・編集者としての活動を開始。2014年にエッセイマンガ『同居人の美少女がレズビアンだった件。』を刊行、漫画家としてもデビュー。Tokyo SuperStar Awards2014 カルチャー賞受賞構成書籍に『すべての教育は「洗脳」である 21世紀の脱・教育論』(堀江貴文著)、『残念な政治家を選ばない技術—選挙リテラシー入門』(松田馨著)、編集協力に『ゲイカップルに萌えたら迷惑ですか?』(牧村朝子著)、『大人たちには任せておけない! 政治の話 18歳社長が斬る、政治の疑問』(椎木里佳著)など。近著書に『家族が片づけられない』(イースト・プレス)がある。他、インタビュー・対談構成、選挙メディアへのコラム寄稿も多数。文章とマンガ、両方を使って表現活動を行なっている。</p> <p>原木万紀子(立命館大学 共通教育推進機構特別招聘准教授)</p>
申込方法	<p>以下のセミナーHPにある申込フォームよりお申込みください。</p> <p>http://www.ritsumeai.ac.jp/ru_gr/g-career/program/list/article.html?id=137</p>  <p>(セミナーHP QRコード)</p>
申込期日	2018年5月25日(金) 17:00

お問い合わせ先

立命館大学大学院キャリアパス推進室 (担当:勝屋、森)

TEL: 075-465-8195(衣笠)

Email: l-hba@st.ritsumeai.ac.jp



facebook